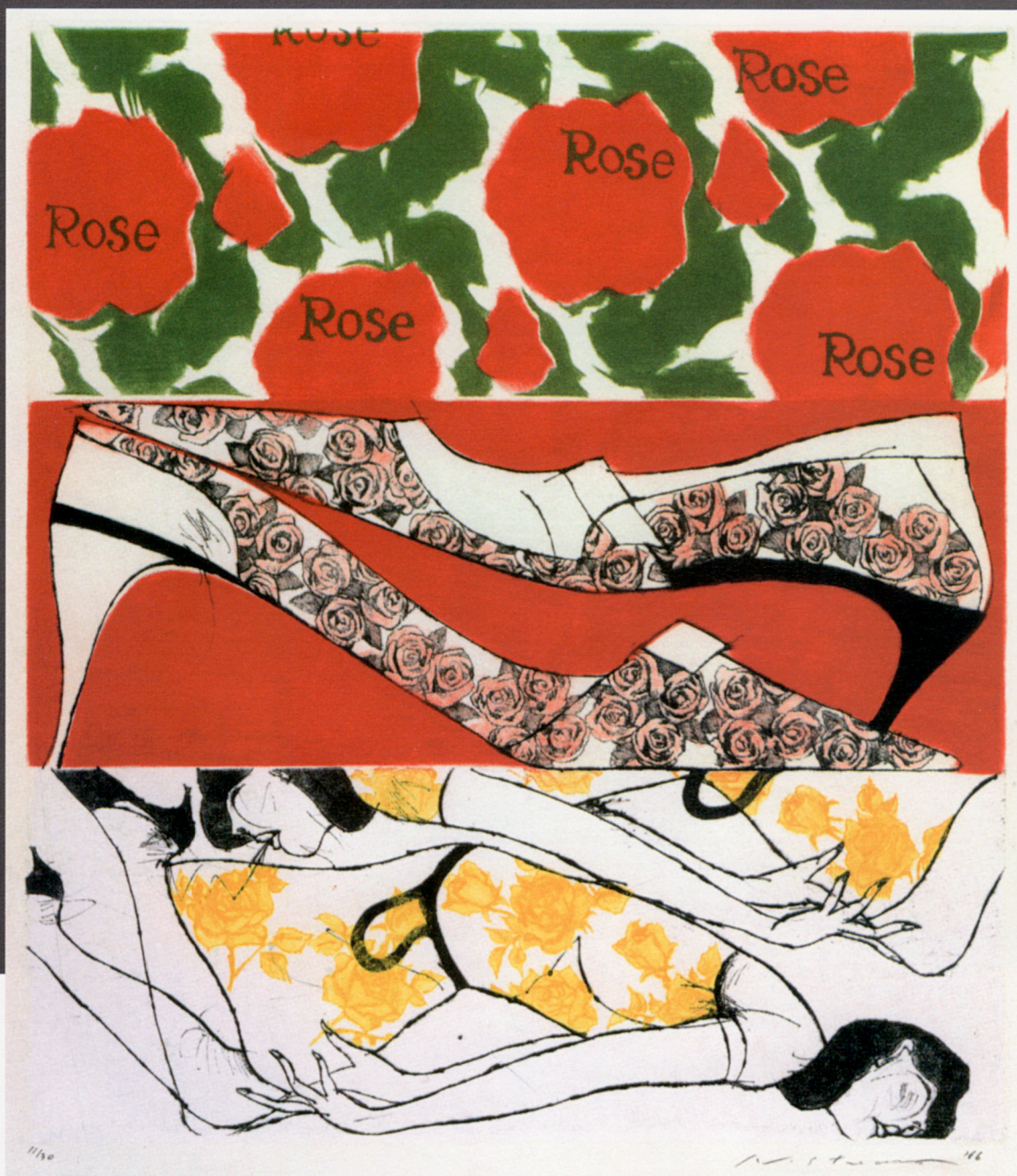


IKEDA MASUO:RETROSPECTIVE

1934-1997

池田満寿夫展



〈バラはバラ〉 1966

2012

8. 4 (sut.) - 9. 9 (sun.)

■休館日 水曜日

■開館時間 午前10時～午後6時（最終入館は午後5時30分まで）

喜多方市美術館

喜多方市字押切 2-2 〒966-0094
phone.0241-23-0404 facsimile 0241-23-0406
http://www.city.kitakata.fukushima.jp/bijyutsukan/



池田満寿夫は1934年旧満州国奉天に生まれ、戦後、母方の郷里の長野で少年時代を過ごしました。長野北高校を卒業すると、東京芸術大学を受験しますが失敗。20歳のとき公募展に出品して落選、以後は公募展には出品しませんでした。

22歳の時、友人の瑛九のすすめで版画を始め、東京国際版画ピエンナーレで文部大臣賞や国立近代美術館長賞などを受賞します。版画家として認められた池田は1965年、ニューヨーク近代美術館で「池田満寿夫の版画展」を開催します。以後、リュブリアナやクラコフなどのピエンナーレでも次々と入賞し、1966年、第33回ヴェネツィア・ピエンナーレでは、版画部門の大賞を受賞、32歳の若さで版画家として国際的な頂点をきわめました。その後も様々な技法をこころみて作風を大きく変えながら、池田満寿夫は日本を代表する版画家として東京とニューヨークを拠点に制作をつづけました。

1977年には芥川賞を受賞、小説家としても活躍します。版画家・画家・挿絵画家・彫刻家・陶芸作家・作家・テレビタレント・映画監督などのさまざまな肩書きを持つ池田でしたが、多岐にわたる活動、多才がゆえに「日本での評価を妨げる」ことにもなりました。それは、独創性を重視し、自由な変貌を繰り返したからでした。50歳の時に陶芸の初個展を開催、晩年は陶芸制作、立体造形に没頭します。残された作品は、版画作品が約1000点に対して、陶芸作品は3000点以上のほりまます。

1997年2月、陶の作品《土の迷宮》シリーズを焼成してまもない3月8日、急性心不全により死去、63歳でした。

本展では、ヴェネツィア・ピエンナーレでの受賞作品をはじめ、池田の各時代の版画作品を約50点を紹介するほか、陶などによる立体造形作品を約10点、そして、あまり知られていない書の作品約10点を紹介します。池田芸術の全貌を明解に鑑賞できることでしょう。

- 1 スプリング・アンド・スプリングス、1966年
ドライポイント・ルーレット ヴェネツィア・ピエンナーレ大賞
- 2 愛の瞬間 1966年
ドライポイント・ルーレット・ビュラン ヴェネツィア・ピエンナーレ大賞
- 3 地蔵 16 1994年 ブロンズ
- 4 敦煌 1992年 ブロンズ
- 5 遊 不詳 書
- 6 池田満寿夫 1992年頃撮影

池田芸術の全貌を、コンパクトに

池田満寿夫展

2012 8.4 (土) - 9.9 (日)

- 休館日 水曜日
- 開館時間 午前10時～午後6時 (最終入館は午後5時30分)
- 観覧料 一般 500円 (400円)
大・高校生 300円 (250円)
小・中学生 200円 (150円) ※ () は20名以上の団体割引
- 主催 喜多方市美術館
- 後援 福島民報社 福島民友新聞社 朝日新聞福島総局 読売新聞東京本社福島支局 毎日新聞福島支局 日本経済新聞社福島支局 産経新聞社福島支局 河北新報社 NHK福島放送局 福島テレビ 福島中央テレビ 福島放送 テレビユー福島 ラジオ福島 ふくしまFM 喜多方シティエフエム
- 企画協力 株式会社 港屋

□ お問い合わせ 喜多方市美術館

喜多方市字押切 2-2
〒966-0094 phone.0241-23-0404 facsimile 0241-23-0406
http://www.city.kitakata.fukushima.jp/bijyutsukan/



- ◆ 交通
- ・JR喜多方駅から 約1.5km 徒歩20分
タクシー5分
- ・磐越自動車道津若松ICから 約19km 車で30分
- ・磐越自動車道津坂下ICから 約20km 車で30分

次回展覧会のお知らせ

「佐藤幸代展-風のふるさと-」
9月15日(土) - 10月21日(日)